



菅原 隆文
(よねしる会)

二ツ井町の まちづくり

質問 ①飲用不適や水量不足が心配されている町の中心部の水道整備の具体的な計画は。②統合小学校の建設は20年度に間に合うのか、また廃校舎や跡地の利活用は。③21年度実施予定の、松寿会や商工会が要望している温泉開発を、前倒しにできないか。

答弁 ①旧町の「全町水道整備計画素案」では、二ツ井・荷上場とその周辺地域を大規模整備区域とし区分しており、今後地域住民の意向確認等の結果を踏まえ、整備計画を総合的見地から再検討した上で進めたい。

答弁 ②統合小学校の建設事業は、当初の年次別計画の内容を精査した上で、できるだけ早く関係予算を提案していきたい。土地・建物の利活用は、地域における施設利用のあり方、地域づくりとの関わりなどを考慮して進める。

答弁 ③二ツ井プロジェクトの一事業として新市建設計画と同様に、これから策定する総合計画にその進むべき方向性が委ねられることになるものと考えている。

市税の収納率 向上対策

質問 国の三位一体の改革に伴い、「地方分権」実現のため、地方への財源移譲が進められている。市税は税法改正により貴重な自主財源として歳入予算の大きなウエイトを占めるが、収納率は年々悪化している。収納率向上の具体的な対策は。

答弁 収納状況を常に把握し、迅速な催告を行うなど早めの対応をしているほか、毎週金曜日の夜間窓口や毎月第1日曜日の窓口開設等の継続、年金受給時に合わせた取り組みをしている。誠意の見られない滞納者については、財産の差し押さえや、国税の滞納世帯については、短期被保険者証や資格証明書も発行している。収納率向上は重要課題のため、能代山本地域の滞納整理機構設置については事務レベルで検討し、市民サービス制限条例も含め先進地事例を参考に努力していきたい。



安岡 明雄
(市民の声)

中心市街地の あり方と郊外出店

質問 中心市街地活性化法の改正により手を打たない行政は衰退する状況になる。市の果たす役割が重要となる中で市街地と郊外の方針と進め方は。また住吉町住宅は木都としての町並み等、木造化を目指す産学官の連携により早期に方針を示して欲しい。

答弁 中心市街地のまちづくりの方針は、街の顔として商店街が残り、高齢者を初め交通弱者が歩いていけるまちづくりを考えている。大型店の出店については、中心市街地に及ぼす影響等、情報を収集・調査し、慎重に検討したい。また、住吉町住宅の建てかえについて、産学官からの提言に添った研究会を設置するため、木高研などと協議し、今後建設する公共施設について、研究成果を取り入れながら進めたい。木造化と耐火構造との検討経過については、早期に安全で安心できる住居の提供

のため、現在地に木をふんだんに使った耐火構造により建設したい。

歴史の里・檜山の まちづくりの推進を

質問 鳥取市では町並み整備事業を開始することで、住民の自主的な参加を喚起し城下町を生かす町おこしが進んでいる。ふるさと教育、観光、地域づくりのため、鳥取の例にならない、拠点づくりを初め具体的な施策で住民と一体化の下、推進してほしい。

答弁 ①歴史資源を活用した交流の促進、②農村資源を活用した交流の促進、③地域のコミュニティの充実の3つを柱に、具体的施策として、デジタル機能及びコミュニティ機能を満たす地域の拠点施設の整備や散策路の充実、ガイド体制の強化などの取り組みを推進するとともに、景観ガイドラインの策定等も視野に入れ、地元との話し合いを進め、できるだけ早く具体化できるように努めたい。

安岡議員のその他の質問事項

- ・市長の「変える」行財政改革の方針について
- ・洪水ハザードマップ・安全安心のまちづくりについて